

【研究課題名】 755-2 Postoperative quality of recovery score :the QoR15 日本語版の妥当性・信頼性の検討

【実施責任者】 中央手術部 学内講師 田中 優

【実施分担者】 麻酔科学教室 教授 川口 昌彦
麻酔科学教室 医員 内藤 祐介
集中治療部 准教授 井上 聡己
地域医療学講座 講師 岡本 希

【研究の意義】

手術・麻酔後、死や合併症とともに病院内の生活の質（QoL）とも言える回復の質をアウトカムにすることは、ますます重要と認識されて来ている。Postoperative Quality Recovery Score:the QoR15（術後回復の質尺度 :the QoR15）はMylesらによって開発された回復の質計測用の質問紙であり、世界中で普及しているthe QoR40の短縮版であり、QoR40より患者への負担も小さく、臨床的有用性に優れている可能性がある。

【研究の目的】

QoR15（日本語版）の妥当性・信頼性を検討し、回答を記入してもらい、質問項目を計量心理学的に分析することによって妥当性信頼性をもった尺度を開発する。また the QoR15（日本語版）と麻酔周術期データを用いて回復の質に影響を与える因子を同定する。

【研究の方法】

The QoR15（日本語版）術前・術後に測定する。

測定ポイント：術前 2日後、3日後（3日後には1日 2回測定するグループあり。）回復の質尺度の基準関連妥当性・同時妥当性・予測妥当性・実施可能性などを検討する。データは計量心理学的な分析をおこなう。本研究は、奈良県立医科大学にて実施する。基準関連妥当性は手術侵襲の大きさとの関連で、同時妥当性は回復VASとの関連で行う。予測妥当性は入院期間との関連で行う。実施可能性は、質問紙票の記入率、完成率、完成時間で行う。

【研究機関名】 奈良県立医科大学 麻酔科学教室

【個人情報の扱い】

匿名化は、質問紙をデータに入力時に連結可能匿名化の状態にして行う。Excelデータ管理は厳格にし、外部に漏洩するようなことがないように注意する。Excelデータはインターネットに接続しないパソコンに保存しパスワードをかけ保存する。

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者：麻酔科学教室 田中 優

〒634-8522

奈良県橿原市四条町 842

TEL 0744-22-3051